

今期社会教育委員の会議テーマについて(案)

提案者※敬略	今期の協議テーマの提案内容	備考	今後の議論へ向けて確認したい情報、その他意見	仙台市教育構想2021の関連項目
石垣 恵	<p>① 地域コミュニティのリーダーとなる方の人材育成事業と人材活用施策について</p> <p>② 地域団体のネットワークづくりのための人材育成事業と人材活用施策について</p> <p>③ 一人親家庭や生活困窮家庭の児童や保護者を対象とした社会教育の在り方について</p>	<p>現時点で市内の一部で実施されているものであっても隔々まで行き届かせる方法を模索したい。</p>	<p>・委員の方々の専門分野・御経験などご本人の了承を得て共有させていただき、委員の専門性を生かした協議内容にすることで実りが多くなると思う。</p> <p>・令和5年度までの社会教育委員の会議が目指すものは何なのか計画を示していただきたい。例)6月までにテーマを決定 11月までグループで調査研究、3月までに報告書執筆など協議した内容を何に生かすのかどこに発信されるのかも示していただきたい。ゴールがわかると社会教育委員同士の主体性を発揮しやすいと思う。</p>	<p>【P46】基本方針Ⅳ生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実 Ⅳ-1 ライフステージに応じた学びの支援 施策 市民の主体的な学びの支援(Ⅳ-1-①)</p> <p>【P50】基本方針Ⅳ生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実 Ⅳ-2 学びを支える人材育成 施策 社会教育事業に携わる職員の育成(Ⅳ-2-①) 施策 自ら学ぶとともに、市民の学びをサポートする地域人材の育成と活躍促進(Ⅳ-2-②)</p> <p>【P52】基本方針Ⅴ学びでつながり、郷土を愛し絆を深める地域づくり Ⅴ-1 社会全体で子どもを育てる環境づくり 施策 地域とともに歩む学校づくりの推進(Ⅴ-1-①) 施策 学びを通じた地域づくりの推進(Ⅴ-1-②)</p> <p>【P54】基本方針Ⅴ学びでつながり、郷土を愛し絆を深める地域づくり Ⅴ-2 家庭教育の支援 施策 家族がともに学び、ふれあう機会づくりの推進(Ⅴ-2-①) 施策 保護者の不安や悩みに寄り添う取組の推進(Ⅴ-2-②)</p>
齋藤 愛	<p>①家庭教育支援で行政ができること</p> <p>②仙台の子育て世代が求める真の社会教育と現状の施策の整合性</p>	<p>①家庭教育はすべての教育の出発点と記載されている。その通りだが、子育てをしている中で思うのは、親自身も教育の素人であり、自身の親から教わったことや経験に頼る部分が多いため、変化のスピードがはやいこれからの時代においては、不十分なことや、親の情報格差＝子どもの教育格差につながるが多くなると感じている。親自身が教育(家庭教育)への知識、意識をアップデートしていくことが大切だと感じているが、学ぶ機会の確保が難しくなる一方なので(共働き家庭の増加などによる)、行政として何か具体的に支援できることや、情報発信の仕方、民間との協働などの視点を調査してみたい。</p> <p>②仙台市が行っている教育施策、子育て支援策自体を親たちがよくわかっていないということが多いと感じている。例えば、「仙台自分づくり教育」などの施策を実施しているとのことだが、私自身も知らなかった。このようにせっかくやっていることが伝わっていないことは勿体ないことでもあるし、関心が深まらない一因にもなっていると思う。子育て世代が求めている社会教育の調査に現状がマッチしているのか、調べてみたい。</p>		<p>【P54】基本方針Ⅴ学びでつながり、郷土を愛し絆を深める地域づくり Ⅴ-2 家庭教育の支援 施策 家族がともに学び、ふれあう機会づくりの推進(Ⅴ-2-①) 施策 保護者の不安や悩みに寄り添う取組の推進(Ⅴ-2-②)</p>
亀井 あかね	<p>市民の文化的志向性と社会的志向性について:ナショナルアイデンティティとシチズンシップ教育の観点から</p>			<p>【P56】基本方針Ⅴ学びでつながり、郷土を愛し絆を深める地域づくり Ⅴ-3 地域づくりに向けた学びの推進 施策 地域における学びと実践の機会の充実(Ⅴ-3-①)</p> <p>Ⅴ-4 豊かな歴史・文化を活用した学びの機会づくり 施策 仙台の歴史や文化の継承と発信(Ⅴ-4-①) 施策 アートを活かした地域の魅力の創出(Ⅴ-4-②)</p>
泉山 靖人	<p>社会教育施設と外部組織の連携について</p>	<p>既に平成27年に提言「学校と社会教育施設との連携について」が出されているが、社会教育施設の連携対象としてはより多様なものが想定される。また、そのような取り組みに際しては、社会教育施設の職員についても従来とは異なる専門性等を持つことが望ましい場合も想定される。</p> <p>このような事例の調査を進めつつ、今後の社会教育施設に求められるあり方を展望することを提案する。</p> <p>※当面の調査事例とする連携対象として、首長部局や専門性の高い団体(医療機関等)を想定。</p>		<p>【P47】基本方針Ⅳ生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実 Ⅳ-1 ライフステージに応じた学びの支援 施策 社会教育施設の専門性を活かした多様な学びの提供(Ⅳ-1-②)</p> <p>【P49】基本方針Ⅳ生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実 Ⅳ-1 ライフステージに応じた学びの支援 施策 学びにつながる支援の充実(Ⅳ-1-④)</p>
内藤 良介	<p>「DX化」へ向けた新たな生涯学習について</p>		<p>・DX化に向けた対策・対応等あれば提示願う。</p>	<p>【P49】基本方針Ⅳ生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実 Ⅳ-1 ライフステージに応じた学びの支援 施策 ICTを活用した多様な学びの提供(Ⅳ-1-③)</p>